

# 事例研究報告

学部内で指導方法を共有して  
生徒の自立場面を増やす取り組み

～中学部2名の事例からその方法を考える～

## 生徒の実態・ケース I

- 中学部生徒 知的障がい
- 簡単な口頭指示を理解することができる。日常的に使われる言葉の理解はあるが、やりとりのある会話はスムーズではない。パターン化された会話は成立する。
- 活動の内容によって時間がかかったり逸脱行動が見られたりする。
- アニメ番組が好きで、女の子のキャラクターのイラストをよく描く。

## 保護者の願い

- 時間の区切りや気持ちの切り替えができるようになってほしい。
- その場に合った挨拶ができるようになってほしい。
- 好きな遊びや作業が増え、充実を感じてほしい。

## 教員の願い

- 教員のプロンプト（言葉かけや指さし）を減らしたい。
- 鼻ほじりがあり、マスクをするとその回数が減る。不衛生な行動が減ることで将来の就労先が広がってほしい。

## アドバイザーからの助言

- 記録の仕方を工夫し, 負担感を軽減する。  
→ 記録の測定場面を決める。1日の中で複数回, 設定する。
- トークンエコノミーシステムを活用する。  
→ ベースラインからトークンの数の妥当性を考える。

# 指導の手続き①

- マスクボード

→マスクを下ろす毎にマグネットをずらす。  
残念ゾーンまでに踏みとどまればスタンプ  
がもらえる。朝の会と掃除の2場面でバック  
アップ強化子と交換。



# 指導の手続き②

•担任外が入る授業に広げて実施。朝の会  
+朝の掃除+1教科の3場面でスタンプがも  
らえればバックアップ強化子と交換。

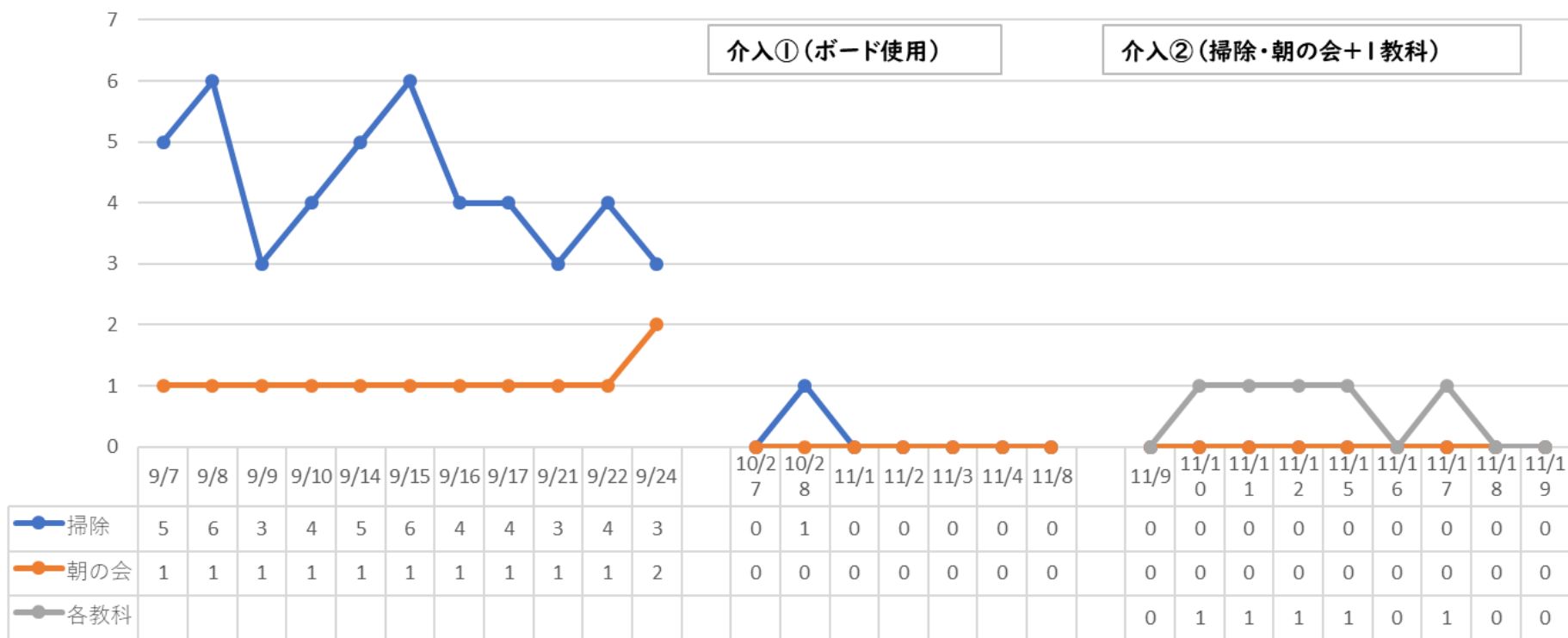


# 記録方法

- ・マスクを着用するように指示した回数を記録する。

# 記録

マスクの着用について支援をした回数



## 指導の成果

- ・マスクボードを活用することで、担任外の教員の授業でもマスクを外す回数が劇的に減った。

## ここが成功のポイント

- ・ベースラインを基に妥当なトークン数を設定した。
- ・誰もが取り組みやすい方法だったので、担任外の教員の協力を得やすかった。

## 生徒の実態・ケースⅡ

- 中学部生徒 知的障がい
- 促しに応じて、限定された場面で「〇〇行ってきます」「〇〇お願いします」と言うことができる。
- 女性の教員の身体を触ろうとすることがある。
- 物の位置を何度も直す、小さなごみを拾うなどの、こだわり行動を見せることがある。
- 鼻をほじる、かさぶたを剥がす、紙片がひっくり返る様子を見るなどの感覚刺激を求めることがある。



## 保護者の願い

- 一人で安全に過ごせるようになってほしい。
- 一人で楽しめることを増やし、一人で過ごせる時間が増えてほしい。

## 教員の願い

- 教員のプロンプト（言葉かけや指さし）を減らしたい。
- 一人で活動できる場面を増やしたい。

## アドバイザーからの助言

- 活動場所が広い

→パーティション等を活用し環境設定を行う。

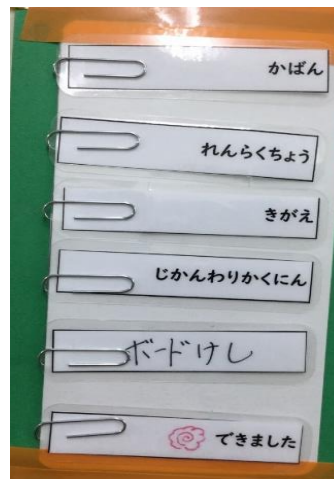
- 音声指示により指示待ち状態の子どもをつくってしまう

→声かけは称賛する時のみ。指示はスケジュール等を活用する。新しい行動は身体的ガイダンスで教える。

- 目を輝かせて行動を起こしたくなるくらいの好子を探す。

# 指導の手続き①

- 1時間目の朝の活動を測定場面とする。
- スケジュールで活動内容を伝える。
- 活動スペース内でスケジュールが完結するよう環境を設定する。
- 4つの活動が終わったら活動スペースの外にいる教員に「できました」の報告をする。



## 指導の手続き②

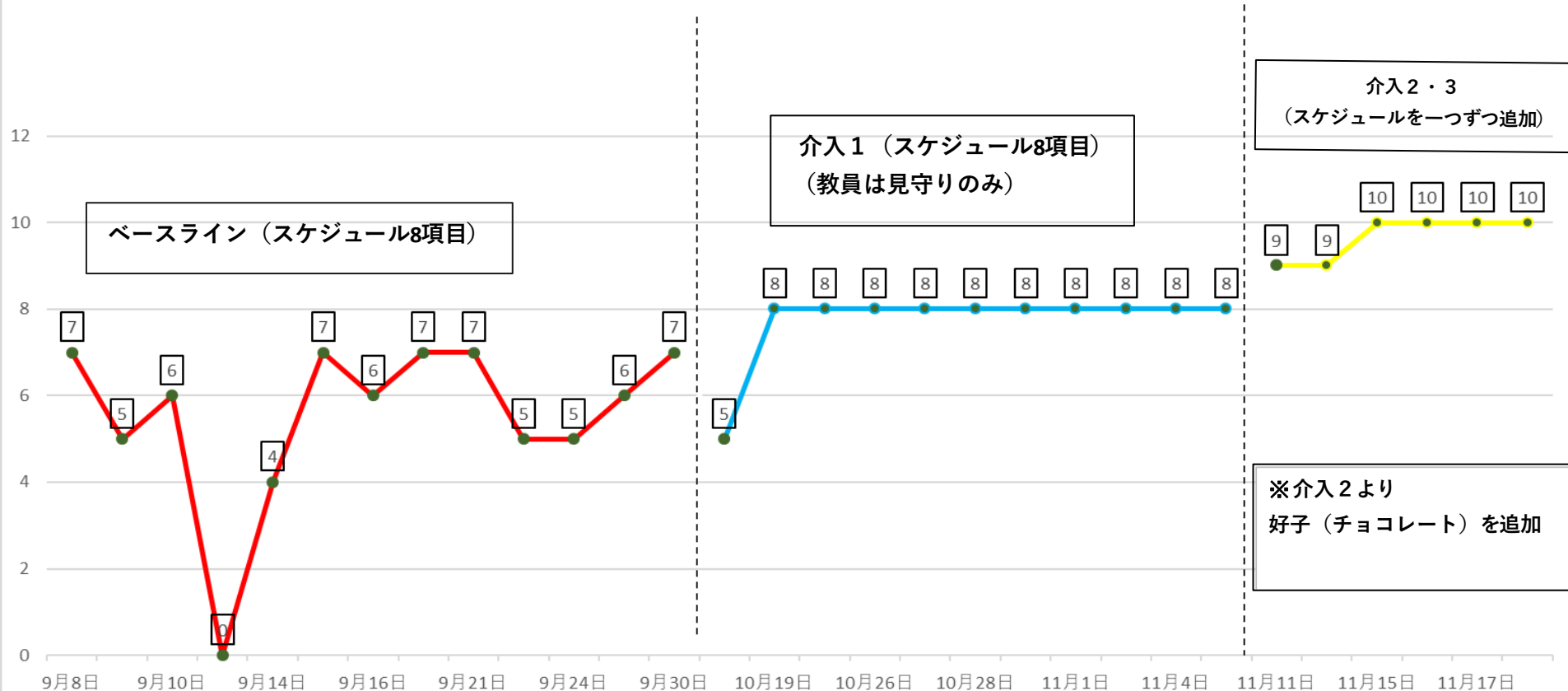
- 一人で活動に取り組み「できました」と報告することができたらシールを渡す。
- シールが2枚たまったらチョコを渡す。



# 記録

- 朝の活動の時間に一人で取り組めたスケジュールの項目数を記録する。

朝の活動の時間に一人で取り組めたスケジュールの項目数の記録



# 指導の成果

- ・朝の活動時間の、こだわり行動や感覚刺激が減った。
- ・朝の活動時間の、一人で活動できる時間が増えた。
- ・教員による声かけが減った。

## ここが成功のポイント

- ・環境を整えることで、一人で最後まで取り組める活動が増えた。
- ・教員は自らの指導方法を意識することで、音声指示を減らすことができた。

# 学部内の教員の変容

- ・指導方法がうまく引き継がれない。
- ・気になる行動への対応が後手に回り, 指導が消極的な部分があった。



話し合いの機会  
が増えた。

指導方法, 教材,  
関わり方の共有  
を意識できた。

望ましい行動を  
増やすために考  
えたり工夫した  
りできた。